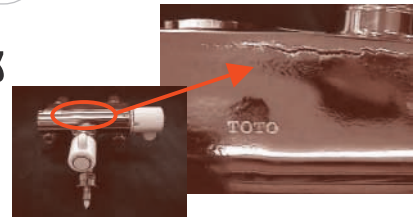


水栓金具「冬のトラブル凍結破損の予防処置」のお知らせ

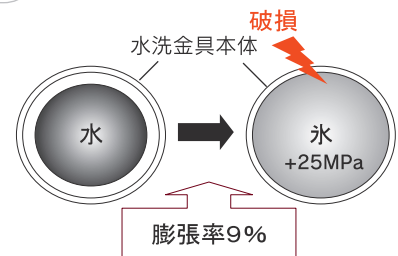
事象

冬場に気温が0℃以下になると、水栓金具内部の水が凍結して金具が破損する。



原因

水は凍ると体積が9%増え、止水した水栓金具内部の圧力が「水圧+25MPa」となるためです。



もう
だいじょうぶだよ



これで解決

気温・室温が0℃以下になる場合は、凍結予防を行ってください。

■施工・取付け上の対応

- ①屋外にむき出しになっている配管や水栓には、発泡スチロールや布を巻いて保温してください。
- ②保温用のヒーターを付けてください。

■使用上の対応

- ①暖房などにより室温が0℃以下にならないようにしてください。
- ②夜間（凍結しそうな時間帯）は少量の水（毎分約200cc=1分間に牛乳ビン1本程度）を出し放しにしてください。
- ③寒冷地用の水栓では水抜きコックを開けて水抜きをしてください。

一般地にお住まいのお客様は、冬場の凍結破損に対する予防処置の認識が低いため、予防処置についてお客様へのアドバイスをお願いします。

